



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月1日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4044 URL http://www.cgco.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 皿澤 修一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 河部 守弘 TEL 03-3259-7062  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	175,160	22.8	11,064	40.3	11,863	16.5	8,916	24.2
27年3月期第3四半期	142,638	3.4	7,887	14.9	10,182	12.9	7,181	94.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 9,407百万円 (△32.8%) 27年3月期第3四半期 13,988百万円 (26.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	42.88	—
27年3月期第3四半期	34.33	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	287,584	162,889	55.7
27年3月期	283,439	156,580	54.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 160,065百万円 27年3月期 154,317百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,000	17.6	11,000	△4.7	11,800	△17.6	9,200	△11.5	43.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	214,879,975株	27年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	8,422,351株	27年3月期	5,710,849株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	207,967,000株	27年3月期3Q	209,192,686株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や原油安などの恩恵もあり企業業績は改善傾向が継続しており、雇用環境にも改善が見られましたが、個人消費の改善の遅れや中国経済の減速等により輸出に減少傾向が見られるなど、景気の回復にも停滞感が生じています。

一方、世界経済は、米国では景気回復が続いているものの、12月の利上げ実施による影響や、中国の景気減速と原油価格等の下落による資源生産国の収入減、それらの影響による新興国の低迷、地政学的リスクなどにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は175,160百万円と前年同期比22.8%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比1,681百万円増加の11,863百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,735百万円増加の8,916百万円となりました。

### セグメント別の概況

#### (ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、住宅向け需要が堅調に推移しており、省エネ関連商品のエコガラスなどの販売も増加しましたことから、売上高は前年同期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内は軽自動車向けの出荷が減少しましたが、北米の自動車市場の好況に加え、平成26年11月に米国Guardian Industries Corp.より買収をした子会社2社の売上寄与の影響もあり、売上高は前年同期を上回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル用関連製品の出荷量減少から、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は114,110百万円（前年同期比43.3%増）となり、損益につきましては15百万円の営業利益（前年同期比21百万円の改善）となりました。

#### (化成事業)

化学品につきましては、ソーダ灰関連製品の生産停止により、出荷量が減少しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、リチウムイオン電池用電解液製品の出荷は減少しましたが、特殊ガス関連製品の販売が半導体市況の活況を受けて増加したことや、医薬関連製品の出荷も引き続き堅調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、生産コスト低減ニーズ等により省力肥料の販売は堅調だったものの、農作物価格の低迷などの影響を受け一部製品の需要が減少し、売上高は前年同期並みとなりました。

ガラス繊維につきましては、電子材料向けや自動車用途向けの販売が好調に推移しましたことから、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成事業の売上高は61,049百万円（前年同期比3.1%減）となり、損益につきましては11,043百万円の営業利益（前年同期比3,146百万円増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は287,584百万円となり、平成27年3月末に比較しまして4,144百万円増加しました。主な増加要因は、有形固定資産の増加や投資有価証券の時価の上昇などにより、固定資産が8,284百万円増加したことによるものです。

負債は124,695百万円となり、2,163百万円減少しました。主な減少要因は、長期借入金の返済などにより固定負債が1,703百万円減少したことによるものです。

純資産は162,889百万円となり、自己資本比率は、1.3%増加し55.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しておりますため、平成27年5月11日に公表いたしました通期の業績予想は修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,676	17,910
受取手形及び売掛金	50,456	49,501
商品及び製品	28,181	28,213
仕掛品	2,982	3,018
原材料及び貯蔵品	14,045	15,873
その他	10,006	6,571
貸倒引当金	△292	△172
流動資産合計	125,056	120,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,403	25,046
機械装置及び運搬具（純額）	36,087	37,915
土地	25,121	25,116
建設仮勘定	5,609	10,127
その他（純額）	2,985	3,419
有形固定資産合計	94,208	101,623
無形固定資産		
のれん	163	119
その他	1,242	1,406
無形固定資産合計	1,406	1,526
投資その他の資産		
投資有価証券	54,846	57,188
その他	8,274	6,709
貸倒引当金	△352	△381
投資その他の資産合計	62,768	63,517
固定資産合計	158,383	166,667
資産合計	283,439	287,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,467	19,906
短期借入金	24,392	27,732
未払法人税等	1,954	1,432
賞与引当金	1,424	401
その他	23,540	23,844
流動負債合計	73,778	73,318
固定負債		
社債	20,400	20,400
長期借入金	11,168	9,846
役員退職慰労引当金	17	13
特別修繕引当金	3,780	4,278
事業構造改善引当金	4,039	3,869
環境対策引当金	146	145
退職給付に係る負債	7,429	7,379
その他	6,097	5,443
固定負債合計	53,080	51,376
負債合計	126,859	124,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	106,729	113,480
自己株式	△2,865	△4,375
株主資本合計	130,149	135,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,681	22,706
繰延ヘッジ損益	△423	△233
為替換算調整勘定	2,736	1,897
退職給付に係る調整累計額	173	304
その他の包括利益累計額合計	24,167	24,675
非支配株主持分	2,263	2,823
純資産合計	156,580	162,889
負債純資産合計	283,439	287,584

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	142,638	175,160
売上原価	108,503	137,615
売上総利益	34,134	37,545
販売費及び一般管理費	26,247	26,481
営業利益	7,887	11,064
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	717	871
持分法による投資利益	213	358
為替差益	1,416	161
その他	1,469	1,024
営業外収益合計	3,831	2,431
営業外費用		
支払利息	304	314
製造休止損失	392	341
固定資産廃棄損	271	457
その他	568	517
営業外費用合計	1,536	1,631
経常利益	10,182	11,863
特別利益		
固定資産売却益	46	18
投資有価証券売却益	—	337
特別利益合計	46	356
税金等調整前四半期純利益	10,228	12,220
法人税等	2,848	3,288
四半期純利益	7,380	8,931
非支配株主に帰属する四半期純利益	198	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,181	8,916



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	7,380	8,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,154	1,063
繰延ヘッジ損益	△545	190
為替換算調整勘定	765	△798
退職給付に係る調整額	168	131
持分法適用会社に対する持分相当額	65	△111
その他の包括利益合計	6,608	475
四半期包括利益	13,988	9,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,769	9,424
非支配株主に係る四半期包括利益	218	△17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	79,612	63,026	142,638	—	142,638
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	1,674	1,689	△1,689	—
計	79,627	64,700	144,328	△1,689	142,638
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△5	7,896	7,891	△3	7,887

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	114,110	61,049	175,160	—	175,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	957	972	△972	—
計	114,125	62,007	176,133	△972	175,160
セグメント利益(営業利益)	15	11,043	11,059	4	11,064

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。